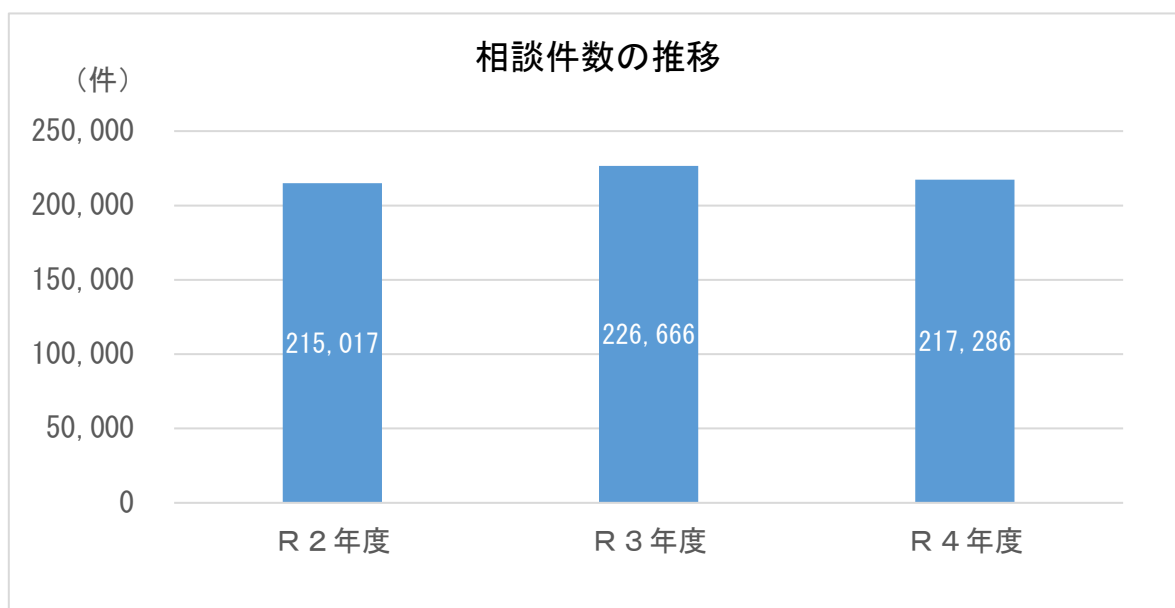


令和 5 年 7 月 13 日  
高齡施策担当部高齡者支援課

## 令和 4 年度 練馬区地域包括支援センター事業実績について（報告）

### 1 相談件数 ※延べ件数

令和 4 年度の相談件数は、地域包括支援センター（25 か所）全体で 217,286 件であった。

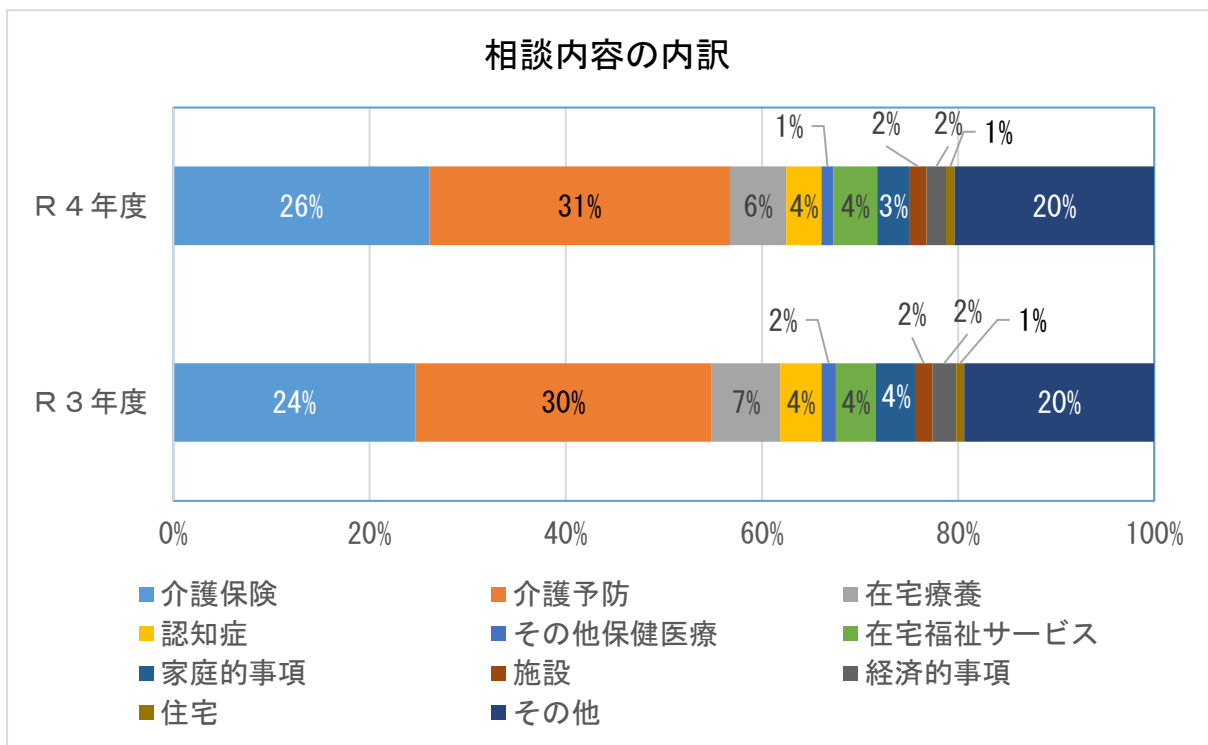


センター別の相談件数は下表のとおりである。

練馬圏域	第 2 育秀苑	7,616	石神井圏域	練馬ゆめの木	5,036
	桜台	6,809		高野台	12,138
	豊玉	6,908		石神井	12,234
	練馬	5,814		フローラ石神井公園	8,360
	練馬区役所	8,535		第二光陽苑	9,713
	中村橋	10,455		関町	14,564
	北町	7,692		上石神井	9,479
光が丘圏域	北町はるのひ	5,547	大泉圏域	やすらぎミラージュ	13,726
	田柄	7,387		大泉北	10,600
	練馬高松園	4,756		大泉学園	8,475
	光が丘	12,157		南大泉	6,542
	光が丘南	5,088		大泉	10,210
	第 3 育秀苑	7,445		合計	217,286

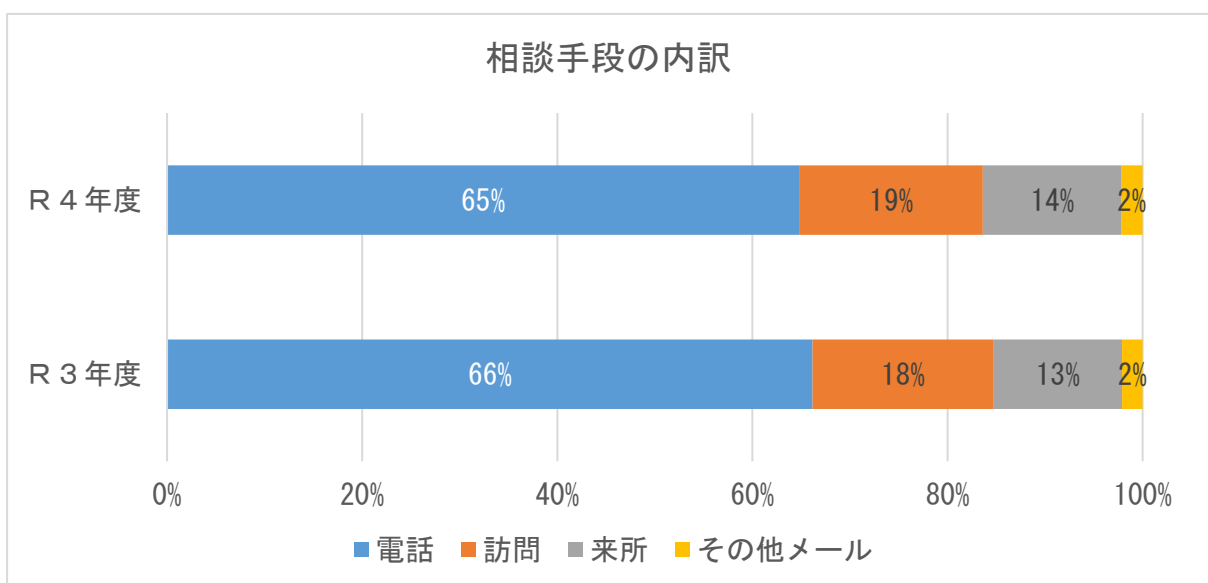
## 2 相談内容の内訳

相談内容としては、「介護保険」および「介護予防」に関する相談が多く、合計すると約5割となっている。



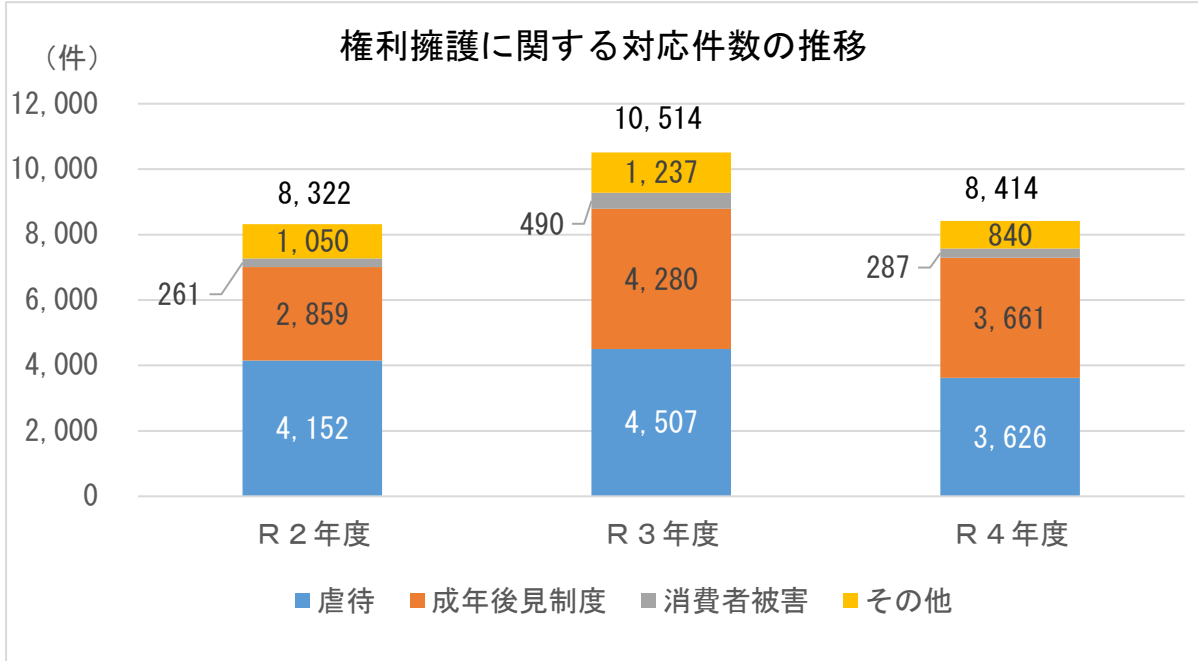
## 3 相談手段の内訳

相談手段は、「電話」による相談が最も多く、約7割を占めている。



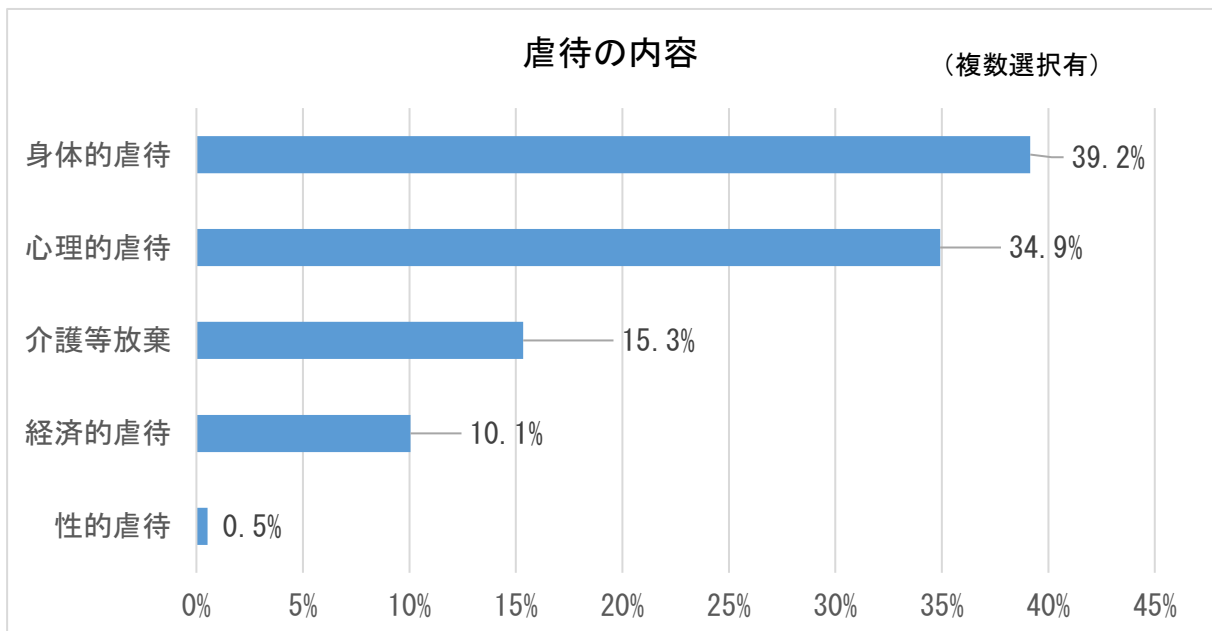
#### 4 権利擁護関係の実績 ※延べ件数

令和4年度の権利擁護関係の対応件数は8,414件であった。内訳を見ると、「成年後見制度」の対応件数が最も多く3,661件で、次に「高齢者虐待」の対応件数が多い。



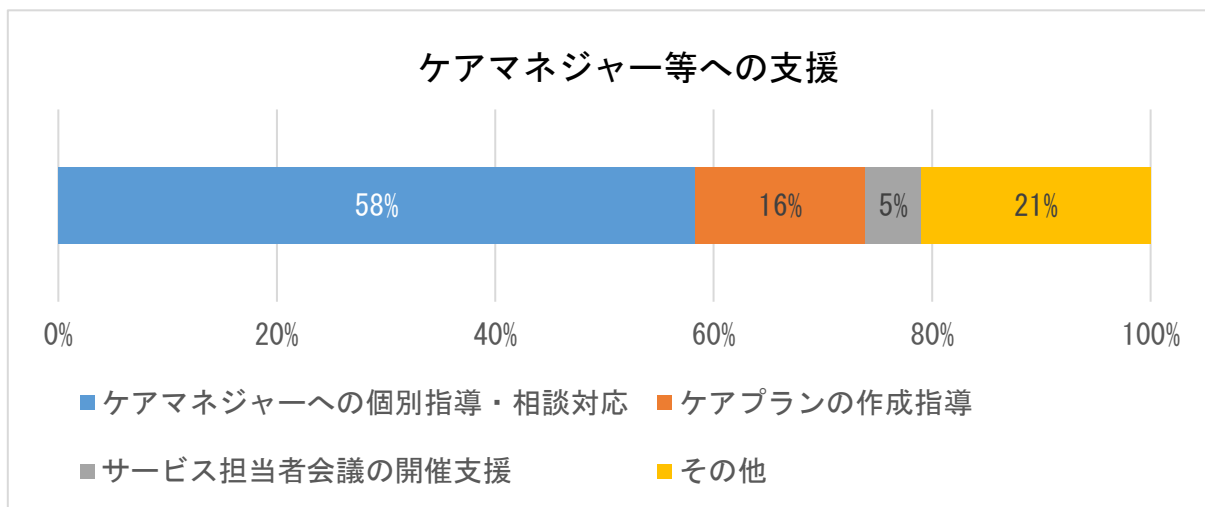
#### 【参考】高齢者虐待対応の内訳

高齢者虐待対応は、総合福祉事務所と地域包括支援センターが連携して対応している。令和4年度の区またはセンターへの虐待の相談・通報件数（実数）は、152件であった。その内、自宅への訪問調査などにより、虐待が認められたものは122件であった。



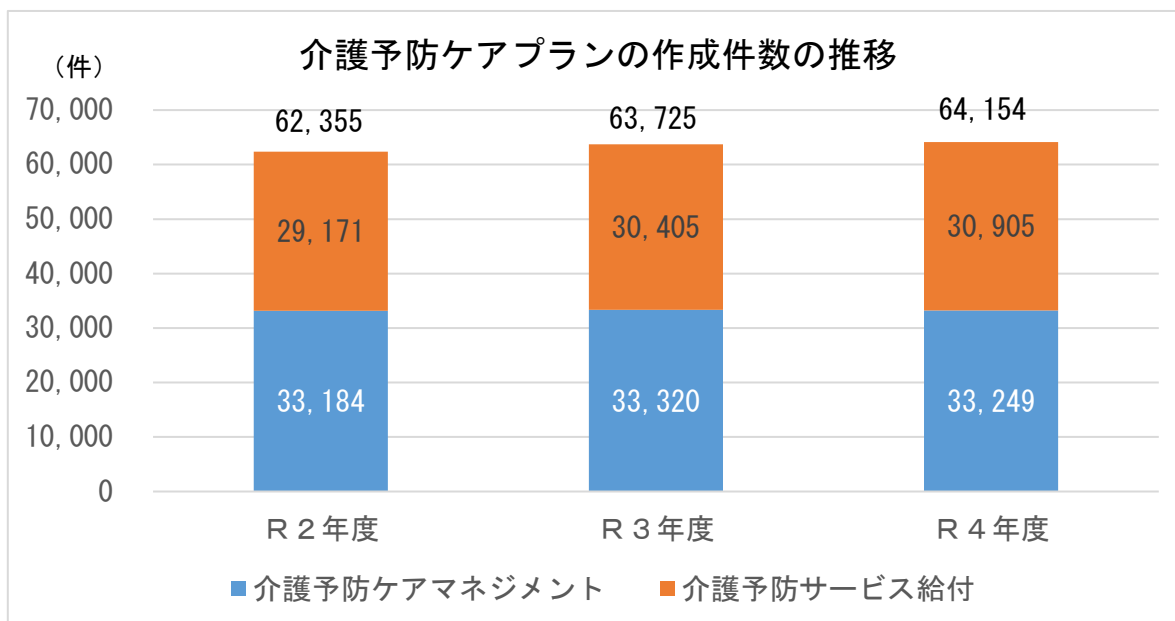
## 5 ケアマネジャー等への支援の実績

令和4年度のケアマネジャー等への支援の件数は7,520件であった。「ケアマネジャー等への個別指導・相談対応」が最も多く、全体の約6割を占めている。



## 6 介護予防ケアプランの作成件数の推移 ※延べ件数

令和4年度の介護予防ケアプラン作成件数は64,154件で、内訳は、「介護予防ケアマネジメント」が33,249件、「介護予防サービス給付」が30,905件であった。



### ※ 介護予防ケアマネジメント

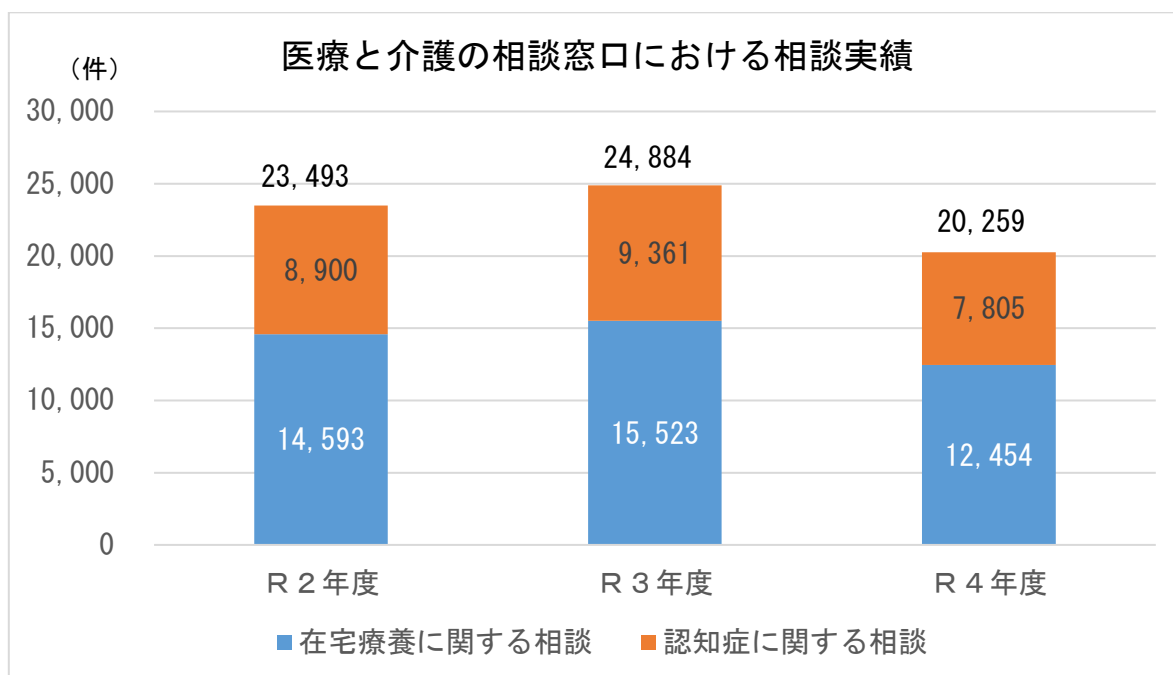
要支援1・2の認定、または健康長寿チェックシートにより事業対象者に該当した高齢者等が、練馬区の介護予防・生活支援サービス（訪問サービス、通所サービス等）を利用する際に作成するサービス計画（ケアプラン）

### ※ 介護予防サービス給付

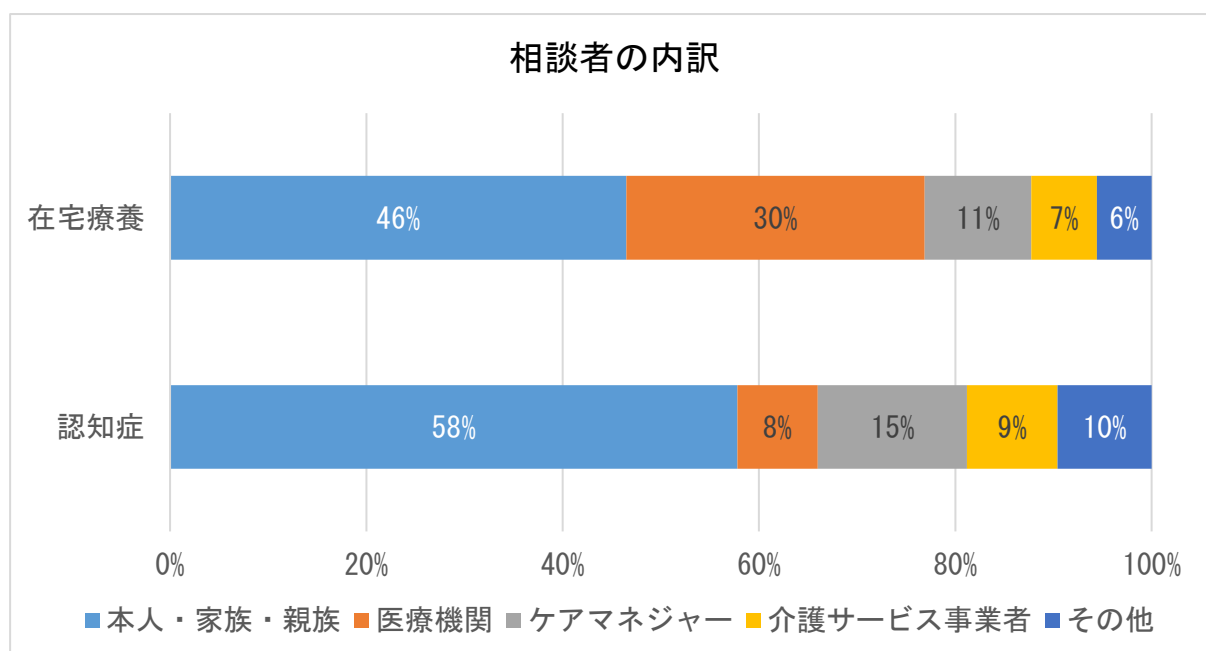
要支援1・2の認定を受けた高齢者等が、主に介護予防給付のサービス（介護予防福祉用具貸与、ショートステイ等）を利用する際に作成するサービス計画（ケアプラン）

## 7 医療と介護の相談窓口における相談実績 ※延べ件数

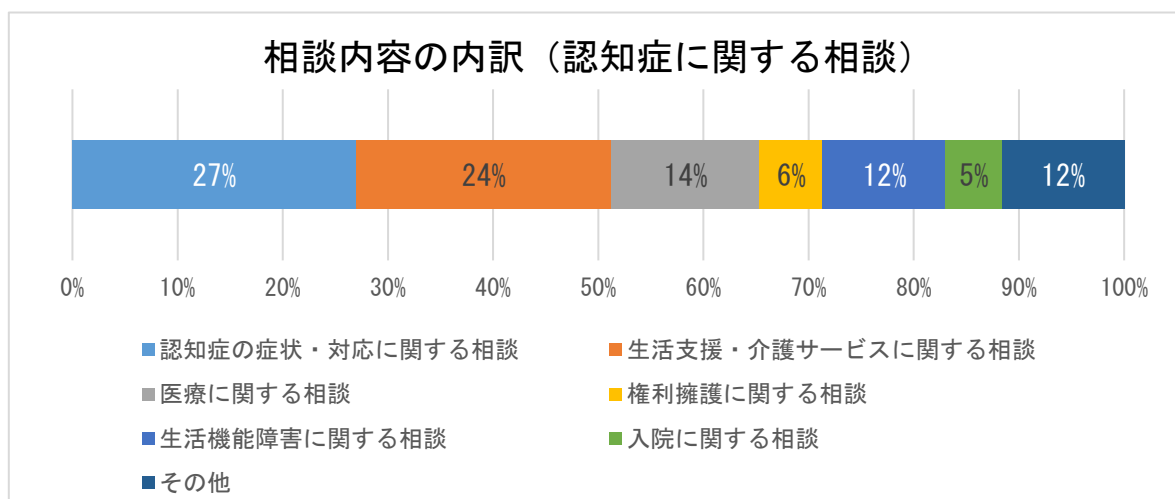
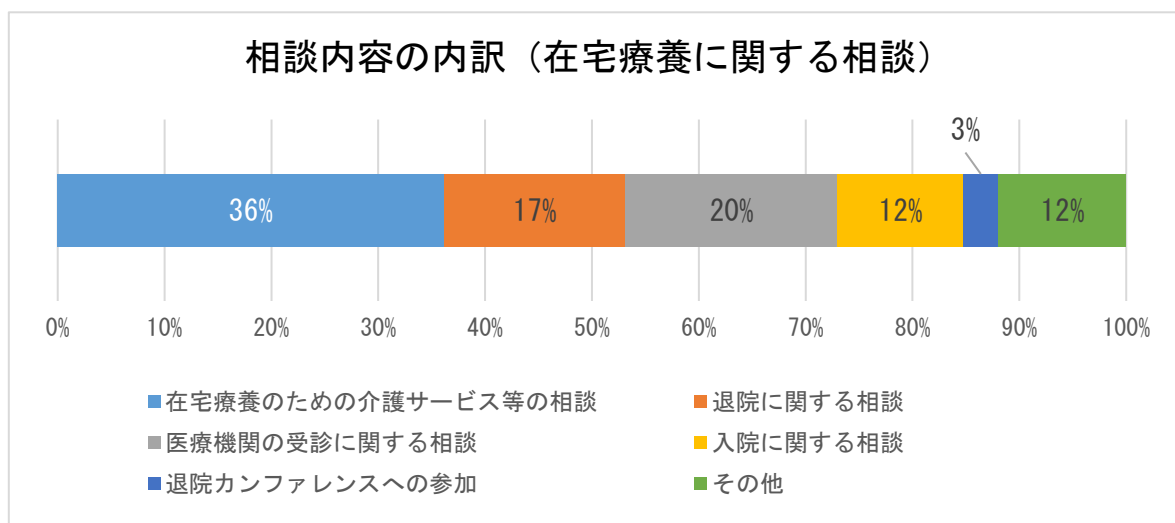
令和4年度の相談件数は20,259件で、内訳は、「在宅療養に関する相談」が12,454件、「認知症に関する相談」が7,805件であった。



相談者は、在宅療養、認知症に関する相談ともに、「本人・家族・親族」からの相談が最も多い。次に多いのは、在宅療養に関する相談では「医療機関」、認知症に関する相談では「ケアマネジャー」であった。



相談内容は、在宅療養に関する相談では、「在宅療養のための介護サービス等の相談」が、認知症に関する相談では、「認知症の症状・対応に関する相談」が最も多かった。



## 8 ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業の相談実績

平成30年度より全ての地域包括支援センターで開始したひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯への訪問支援事業において、令和4年度では、訪問対象者の98%に当たる13,279人に訪問した。延訪問数は17,197回であった。

